



36

桜雉子図

川端玉章

1面

明治27年(1894)

絹本着色 118.2 × 173.3

三の丸尚蔵館

川端玉章(1842～1913)と橋本雅邦(1835～1908)という二人の東京美術学校教授が制作を手がけ、文部省職員一同より献上された2面の大額のうち玉章が描いた1面。大婚二十五年を祝うにふさわしく雌雄の雉子を画面中央に据え、さらに満開の山桜と画面全体に蒔かれた金砂子が慶祝の気分を盛り上げる。ちなみにもう1面は雅邦による《松樹鶴図》(当館蔵)であった。



[参考] 松樹鶴図 橋本雅邦

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department  
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan  
Imperial Household Agency